




CONTENTS

- 1 専攻紹介 鉢物・緑花木専攻
- 2 おすすめの産品紹介
- 3 専攻トピックス
- 4 トピックス
学生会定期総会・全体集会の開催
農業技術研修が開講
経営管理研修を開催
農業体験学習を開催
- 5 お知らせ
オープンキャンパス、令和6年度入学者選抜試験、
あいち農業経営塾、農福連携支援研修

愛知県立農業大学校
公式HP



SNS

Instagram 



Twitter 



専攻紹介

はちもの りよっか ぼく

鉢物・緑花木専攻



鉢物・緑花木専攻は、日本一の生産を誇る愛知県の花を支える“気概ある学生”11人（2年生3人、1年生8人）がメンバーです。

広さ1,400m²の温室や250m²のビニルハウスで、年間5万鉢・200種類以上の植物を3つの部門（鉢花、観葉植物・洋ラン、緑花木）に分かれて育てています。

栽培した植物は、市場出荷だけではなく、毎週水曜の実習販売や毎年12月の農大祭で販売しています。コケ玉を使ったアレンジや多肉植物の寄せ植えなど加工販売もしています。また、本校校門前の花壇や校外学習では鶴舞公園(名古屋市)の花壇デザインや植え込みも行っています。

私たちは、実習や販売を通じて、花を見た方、買ってくれる方が心の癒しになって笑顔になってくれるよう、日々、楽しく実習を頑張っています。

実習販売の様子



鉢花



美しい鉢花を、心を込めて栽培しています。種から芽が出て、花が咲くまでを見られるのでやりがいがあります。

【栽培種類】

シクラメン、ニューギニアインパチェンス、ペゴニア、ポインセチア、花苗など



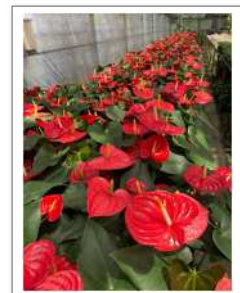
観葉植物



観葉植物は、インテリアに最適な植物です。大きい商品としてはアンズリウム、スパティフィラムなどを栽培しています。

【栽培種類】

アンズリウム、スパティフィラム、ポトス、プミラ、フィトニア、シンゴニウム、パキラなど



洋ラン



洋ラン部門では主にコチョウラン、シンビジウム、多肉植物を育てています。一年中きれいで豪華な花に囲まれて楽しく実習しています。



【栽培種類】

シンビジウム、コチョウラン、オンシジウム、カトレア、多肉植物など



緑花木



花木でも簡単に育てられるものもあります！家のインテリアとして飾ってみてはどうですか？



【栽培種類】

アジサイ、ブルーベリー、フッキソウ、花苗、ハーブ類など



鶴舞公園の花壇飾花



農大祭で恒例の花販売



楽しい加工実習



こけ玉商品



ハーバリウム



おすすめ産品

農大では、毎週水曜日午後3時から学生が栽培した農産物の直売(実習販売)を行っています。

<養 鶏>

養鶏専攻ではさまざまな種類の卵パックと農業大学校で生産された名古屋コーチンを使ったプリンも販売しています。卵も赤玉と白玉からなる紅白ミックスや名古屋コーチンに加えウコッケイ、アローカナなどの希少鶏種の卵も取り扱っております。

同志よ体育館に集え！卵はキミを待っている！



<鉢物・緑花木>

季節に合わせた鉢花や花苗を用意しています。

多肉植物やこけ玉などのインテリアグリーンも並びます。

コチョウランなど贈り物に最適なものもありますよ。



<切 花>

バラ、ストック、ヒマワリ、キクなど（季節によって変わります）、一束5～7本入りで販売。

お勧めは、最近栽培を始めたピンクのバラ「リメンブランズ」、複色オレンジのバラ「フェスティボ」、いつまでも色あせない「スターチスのドライフラワー」です。

季節のイベントに合わせ、ミニブーケを作成して販売することもあります。

お気に入りの花を見つけにお立ち寄りください！



<作物>

作物専攻では化学農薬と化学肥料を使用しない環境にやさしい栽培法で作ったお米を販売しています。

ほ場にはカエルやカブトエビ、ザリガニ等が生息し、豊かな生態系の中で栽培されたお米をぜひご賞味下さい。



<果樹>

果樹の収穫最盛期はあつ〜い夏！

冷房の効いた部屋で、程よく冷やした瑞々しい果物たちを是非ご賞味下さい！！

毎年、人気が高く中々巡り会えない「農大シャインマスカット」。少しずつですが栽培面積を拡大中（育成中）。直売で8月からの販売です！待っててね〜。



<露地野菜>

露地野菜専攻は年間を通して40品目の野菜を栽培しています。どの野菜も新鮮で美味しいと評判で、直売で人気です。

特におすすめなのは6月から10月まで収穫する採れたてのスイートコーンと12月から6月まで収穫する完熟イチゴです。どちらも甘みを強く感じられるため人気になっています。

それに加えてロメインレタスや芽キャベツ、ロマネスコ、伝統野菜の越津ネギなど、珍しい野菜も栽培していて、幅広い野菜を販売しています。



<施設野菜>

大玉トマト、ミニトマト、ナス、キュウリ、アールスメロンなど果菜類が中心。

7月から9月までは植え替え期間のため販売をお休みしますが、11月中旬〜6月下旬まで多くの品目を販売しています。

最近では、食味向上にも取り組み「旨味のあるトマト」などブランド化した商品も販売しています。



専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

○専攻別学生数

(注)カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑花木	切花	作物	果樹	露地野菜	施設野菜	酪農	養豚・養鶏	計
1年	8 (2)	5 (1)	9 (2)	15 (5)	14 (7)	15 (3)	15 (6)	10 (3)	91 (29)
2年	3 (1)	7 (2)	5 (1)	10 (0)	15 (7)	13 (3)	9 (6)	8 (4)	70 (24)
計	11 (3)	12 (3)	14 (3)	25 (5)	29 (14)	28 (6)	24 (12)	18 (7)	161 (53)



削蹄を行いました！

5 / 12に農大牛の削蹄を行いました。人の爪にあたるのが牛では「蹄」というものになります。蹄は天然の靴のようなもので、牛にとってはとても大事な体の一部です。体調を崩すと脆い靴になり、逆に健康だと良い靴になります。

削蹄とは靴のメンテナンスのようなものです。年に数回行うことで、安定した姿勢で牛の能力を最大限に引き出します。牛のコンディションがさらに良くなるように、助言もたくさんいただきましたが、まずは観察が大事です。

1頭でも多く健康な牛を増やしていこうね。



繁殖の要である豚の精液採取を学んでいます

国内の養豚では、人工授精の割合が牛と異なり7割程度とされていますが、農大の養豚では専攻実習で、飼養している雄から精液採取を行い、繁殖を全て人工授精で行っています。

1年生は座学として精液採取の方法を学んだ後、技術を習得している2年生の精液採取を見ることで実践的な方法を学びます。精液採取技術は、すぐに習得できるものではありませんが、2年生から注意点やコツなどアドバイスを受けながら技術習得に努めています。





果樹

ブドウの管理に大忙し！力を合わせて頑張っています♪

5月に入り、果樹専攻では、果物の栽培管理に力を入れています。

ナシとモモ、ミカンの摘果の他、ブドウとイチジクの新梢管理などを行っており、適期を逃さないように、毎週予定を立てて作業を行っています。

特にブドウでは、加温ハウスでは摘粒、無加温ハウスではジベレリン処理、露地栽培でもデラウェアのジベレリン処理を行うなど、房管理に大忙しで取り組んでいます。ブドウの粒が大きくなり、ブドウらしい姿になってくると、職員とブドウ班は達成感とやりがいを感じています♪デラウェアでは、手を赤くしながらジベレリン処理を行い、1年生は自分たちの手の赤さに驚いていました。



作物

田植シーズン本格化！

4月末から農業大学校の田植えが始まりました。コシヒカリ、ミルイークインからスタートし、あいちのかおりへと続いていきます。5月は田植えシーズン真っ只中。

ICT農業として直進アシスト田植え機の実演を行いながら、最新技術を学んでいます。暑くなってきましたが、おいしいお米ができるよう頑張って田植えに励みます。



鉢花・緑花木

鶴舞公園へ行きました！！



5月16日（火）に鉢物・緑花木専攻の1、2年生で名古屋市の鶴舞公園へ行きました。毎年9月と2月に園内の花壇の装飾を農業大学校が担当しており、学生考案のもと、代々行われています。この日は、館長による鶴舞公園の歴史を学び、季節の花に学生達は関心を寄せていました。担当する場所は公園入口のメインの花壇となるため、9月に向けてどの花を選定するのか楽しみです。



目指せフラワー装飾技能士！

今年度も、安城市の木村講師に御指導いただき、フラワー装飾技能士（3級）の実技試験と同じ課題に挑戦しています。

初回の演習では、与えられた花材をすべて使い、360°展開の（大きめの花を中心とし、点対称となるようにデザインされた）花束を作成する課題に取り組みました。今年度は、花をバランスよく配置できず、中心がはっきりしない形になってしまった学生が多かった印象です。これが習得できれば、実習販売や農大祭で販売する商品のレパートリーが増やせるため、頑張って練習してほしいところです。



新1年生だけで直売に挑戦！

これまで2年生と一緒にやってきた直売を1年生だけで実施しました。

晴天も相まって始まる前からたくさんのお客さんで行列ができたのでちょっとドキドキでしたが、1年生たちがトマトやナスなどのおいしさを説明したりして、順調に売れていき、見事完売することができました！1年生の成長が見られた瞬間でした！



校外学習で刺激を受ける！

5月19日に露地野菜専攻の2年生は校外学習で、東三河農業研究所と農業大学校の同窓会長である柴田隆夫さんを訪問しました。

東三河農業研究所では一条植えのタマネギや加工用ブロッコリーの研究、ドローンの活用方法について話を聞き、学生は最新の研究に興味を示していました。

柴田隆夫さんからは効率的な栽培をするための機械の活用や改良について聞き、画期的な機械に驚いている様子でした。初めての校外学習で目新しいものを見て、学生は刺激を受けている様子でした。



※ 各専攻の様子は、農大のインスタグラム、ツイッターで情報発信しています。

トピックス

令和5年度学生会定期総会・全体集会を開催しました

5月12日（金）に学生会定期総会が開催されました。学生会による立派な運営により非常にスムーズに進行し、令和5年度の学生会活動が順調にスタートを切ることができました。

続いて、全体集会において生活指導や各委員会等からの報告があり、最後に岡崎市防災課の職員をお招きして「防災・減災講座～いのちを守るために～」をテーマとした講話がありました。



令和5年度学生会役員



学生会会長（二村早姫）あいさつ

学生会は、農大の学生が楽しく充実した学生生活を送れるよう、学生自身が主体となって行事の企画運営や、学校施設の環境改善などに取り組むための組織です。

様々な学生からの意見を取り入れて、より良い学校生活を築き上げていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

新 役 員

（会 長）二村 早姫

（副会長）尾崎 嵩仁

（書 記）鶴田 昇也

（会 計）水野 大心 （監 事）渡邊 瑛士

（役 員）河合 啓汰、仮屋 岳、小瀬木 羽夢

農業技術研修が開講

5月9日（火）に新規就農希望者を対象とした「農業技術研修」が20～60才代までの受講生27名で開講しました。本研修は離職者の職業訓練に位置づけられており、1月29日（月）の閉講式までの約9か月間、平日は毎日、本校で実習や講義等を行います。

研修生は、主にナス、ピーマン、ダイコン、ニンジンなどの露地野菜を栽培し、生産から出荷・販売までの実習や就農するために必要な基礎知識の講義を受けます。

また、露地野菜だけでなく、切り花や果樹の栽培実習も行います。今年度も賑やかな1年が始まりました。



経営管理研修を開催(農業経営士協会、青年農業士連絡協議会、農業大学校による共催)

4月25日（火）に、「幸せをつかむ農業経営管理術」と題し、オリジン・コーポレーション代表の杉井保之氏による講演会を開催し、107名の参加がありました。

講演会では、日本農業賞大賞を受賞した服部農園代表の服部忠氏ほか3名から農業経営を学ぶことの大切さについて発表があり、杉井保之氏からは経営は数値化である。数値を知れば諦めない。経営者と従業員と一緒に『夢』見ることが大切である。経営を勉強した人だけが会社を伸ばしているなど、熱く語られ、会場から大きな拍手を受け、講演会は終了しました。



農業体験学習(小学1年生を迎えて)を開催

5月2日（金）に美合小学校の1年生33名を迎えて、農業体験学習を実施しました。

当日は、酪農専攻の牛舎を見学しました。学校に帰ってから牛の絵を描くため、観察した後、各自のタブレットで写真の撮影をしていました。

牛が近づいた時に怖がる生徒は少なく、「しっぽの役割は、何を食べるの、赤ちゃんはどこから生まれるの、白黒なのはなぜ等」の質問をして、牛に興味を示してくれました。



お知らせ

オープンキャンパス

本年度も、下記の日程で5回開催します。
本校の学生も参加して交流を深める機会もあるので、農大への入学に関心がある方はぜひご参加ください！

- ① 6月3日(土) ② 6月17日(土)
- ③ 7月25日(火) ④ 8月1日(火)
- ⑤ 8月22日(火)

- 各回とも午前9時50分～正午
- 事前に参加申し込みが必要です。

※詳細は本校ホームページを御覧ください。

お知らせ

令和6年度入学者選抜試験

●一般推薦入学試験

出願期間 9月28日(木)～10月13日(金)
試験日 10月30日(月)
合格発表 11月10日(金)
試験科目 小論文(800字以内) 面接試験
募集人員：定員100名のうち2/3程度

●一般入学一次試験

出願期間 11月9日(木)～11月24日(金)
試験日 12月8日(金)
合格発表 12月20日(水)
試験科目 数学Ⅰ、小論文(800字以内)、面接試験
募集人員 定員100名の内、推薦入学合格者を除く数

※詳細は、本校ホームページを御覧ください。

令和5年度あいち農業経営塾(旧 愛知農業次世代リーダー塾) 受講生募集

経営発展のためのノウハウを学び、将来の経営ビジョンを実現しましょう！！

- 対象者：愛知県内の専業農家であり、経営の改善・発展を目指している方
- 定員：20名程度（応募多数の場合は書類選考等を実施）
- 受講料：24,000円
- 開催期間：8月30日(水)～翌年2月14日(水)計12講座
- 申込期限：7月25日(火)まで
- 申込方法：本校ホームページから申込書をダウンロードし、申込書に必要事項を記入の上、郵送、FAX、Eメールのいずれかでお送りください。



令和5年度農福連携支援研修 受講生募集

障害者就労施設職員のための研修です！ 野菜栽培の基礎知識を学び、栽培技術を身につけましょう！！

- 対象者：農福連携に関心のある福祉関係者（障害者就労施設の職員等）
- 定員：15名（先着順で決定）
- 受講料：無料
- 研修期間：6月14日(水)～翌年1月19日(金)
月に4回程度の農場実習と、月に3回程度の農業講義を組み合わせ、全28日間で実施
- 申込期限：6月7日(水)まで
- 申込方法：本校ホームページから申込書をダウンロードし、申込書に必要事項を記入の上、FAX、Eメールのいずれかでお送りください。

